

1. 目的

- ・在宅医療における訪問診療や訪問看護，介護サービス等の実際を，病院の職員に知ってもらうことで，在宅での患者の療養，生活について具体的なイメージを持つことができる。
- ・患者の円滑な入退院に向けて，在宅チームとのシームレスな連携の促進を図る。

2. 昨年度の開催状況

◆内容 グループワーク（ワールドカフェ形式）

テーマ「スムーズな在宅への移行と急変時等の病院との連携」

～どのような情報があったら良いでしょうか？～

ミニレクチャー

在宅療養への移行時における連携について/柏市医師会副会長 古賀先生

開催病院	開催日	参加者	3カ月後アンケート回答率
国立がん研究センター東病院	令和6年11月5日(火) 19時～20時30分	117名 病院65名:医師 23名,看護21名,薬剤師5名, 管理栄養士6名,リハビリ職5名,MSW5名 在宅52名:医師 10名,訪問看護師14名, 薬剤師5名,管理栄養士6名,リハビリ職4名, ケアマネジャー9名,MSW等4名	72.3%
名戸ヶ谷病院	令和7年2月21日(金) 19時～20時30分	69名 病院35名:医師6名,看護17名,薬剤師1名, 管理栄養士1名,リハビリ職5名,MSW5名 在宅34名:医師 7名,訪問看護師10名, 薬剤師1名,管理栄養士2名,リハビリ職7名, ケアマネジャー5名,MSW2名	77.1%

◆ 3か月後アンケートより

国立がん研究センター東病院

(研修を受けて) 在宅医療へのイメージや考え方に変化はあったか？	変化があった	81%
	変わらない	19%

感想

- ・多職種で考えていることがそれぞれ少しずつ異なり，それが集まることで，より良い在宅医療が提供できることがよく理解できた。今後は積極的に多職種のメンバーと情報共有して，患者に満足いただけるような医療の提供に心がけていきたいと思う。
- ・研修を受け，多職種の方々の意見や考えを伺うことができ，とても勉強になった。

名戸ヶ谷病院

(研修を受けて) 在宅医療へのイメージや考え方に変化はあったか？	変化があった	70%
	変わらない	30%

感想

- ・お互いの顔を見ることで安心感につながる。他職種との交流もできるため研修は良い機会だと思う。
- ・病院側の伝えたい事を言葉で直接伝えられて良かった。また、在宅側からも事前に知っておきたい内容の詳細が知れて良かった。

3. 今年度の方向性

- ・ 柏たなか病院 日時：令和7年10月2日（木） 19時～20時30分
- ・ 柏市立柏病院 日時：調整中